

愛&ハート

2026年新春のごあいさつ

- ◆社会福祉法人全電通近畿社会福祉事業団 理事長
- ◆愛の家 施設長 ◆あいハート須磨 施設長 ◆あいハート離宮前 施設長



2026 January

280号

[愛の家]

- ◆きぼう
- ◆かがやき
- ◆グループホームみさき
- ◆工房みさき
- ◆みらい

[あいハート須磨]

- ◆特養・ショート
- ◆デイサービスセンター
- ◆居宅介護支援事業所
- ◆あんしんすこやかセンター
- ◆厨房
- ◆脳梗塞リハビリステーション神戸須磨

[あいハート離宮前]

あいハート須磨 利用者さんの作品



あいハート離宮前 利用者さんの作品





社会福祉法人
全電通信セクター社会福祉事業團
理事長

橋本 寿樹



するために、新しい制度や技術、方法等を積極的に取り入れるとともに、従来のルーラルや方法等を検証し、必要な見直しを実行しています。また、質の向上により、業界最高水準の労働環境・条件を整えるとともに、それに見合った質の高いサービスの提供を目指しています。また、高い規律性や倫理観を持ち、各施設との一体的な運営による総合力の発揮に向けて取り組んでいます。

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃の当法人に対するご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちの事業を取り巻く環境が時代とともに大きく変化する中で、事業団設立（1971年）から、変化に対応するために様々な施策を実施するとともに、新たな施設を開き、地域、社会から必要とされ、信頼される法人を目指しています。そのような中で、設立50年の2021年に、今後の発展する組織、成長する職員を目指して、「中期ビジョン」を作成しました。その中では、現状に留まることなく、変革を推進することで、様々な環境変化に対応

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃の当法人に対するご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度の経営面においては、中間期決算では、各施設とも概ね順調に推移しているところです。年度末に向けて、物価高や人材の確保・育成等、課題は山積していますが、事業計画達成に向けて取り組んでいきます。今後も安定した経営基盤を確立するとともに、地域福祉の拠点として更なるサービスの充実、発展に努めて参ります。

引き続き当法人へのご理解・ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ年頭の挨拶にさせていただきます。



愛の家 施設長
渡會 幸喜



「わ」は、その名のとおり、利用者・職員・地域を丸く大きく包み込む「つながりと安心の輪」をイメージして整備した施設です。働く喜びや人とのつながりを感じられる場として、地域に開かれた拠点となるよう育ててまいります。

今年度は中期経営計画の最終年にあたり、これまでの歩みの振り返りと次期計画の策定が大きなテーマとなります。次期中期経営計画では、グループホームの新たな拠点整備への着手をはじめ、将来を見据えた基盤づくりに取り組んでまいります。また、工房みさきでは、工賃向上に向けた新たな作業の確立を進め、利用者の働く力と生産性の向上を支えていきたいと考えております。

昨年は、児童部の増築と新作業棟の建設という、大きな節目の年でもありました。児童部の増築により、より安全で落ち着いた環境が整いましたが、定員変更については保育士不足の影響により現時点では延期となっています。引き続き採用確保と職場づくりに力を注ぎ、子どもたちへの支援体制を強化してまいります。

施設長1年生として、まだまだ学ぶべきことばかりですが、これからも職員と力を合わせ、利用者とご家族に安心と成長を届けられます。施設運営に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

成人部門では、新しい日中活動拠点「まるのわ」が完成し、本年1月より活動を開始いたします。「まるの



あいハート須磨 施設長
根木 浩司



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。平素より、特別養護老人ホームあいハート須磨の運営に多大なるご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年の干支である「午年」は、古来より「躍動」や「前進」を象徴する「され、活発な行動力によって新たなチャンスを掴みやすい年」と伝えられています。さうに本年は「丙午」ひで道を切り開く「火」の性質を併せ持つことから、より一層パワフルで挑戦的な一年になるといわれています。私自身が午年といつともありますので、あいハート須磨この象徴にあやかり、現状の課題を乗り越え「躍動」「前進」できる一年としたいと考えております。

近年、福祉業界は労働人口の減少に伴う人材不足、人件費や物価高騰によるコスト増加、さらには自然災害

への備えなど、多様で深刻な課題に直面しています。特に介護職員の確保は喫緊の課題となっていますが、当施設でも人材の確保・育成・定着に力を注いでまいりました。採用面では一定の成果が見られるものの、育成段階において離職が複数発生しており、これが克服すべき大きな課題の一つであると認識しています。この課題を解消するためには、職員が安心して成長できる環境整備が急務です。予定している事業構造の見直しに加え、周辺業務の切り出しによる適切な職種分散、さらにA-Iの活用等を通じた業務効率化などを積極的に進めながら、新人職員を安定して育成できる体制を整えることで人材の定着を図り、サービスの質向上を目指してまいります。

次期中期計画（2026年度～2028年度）では、こうした目標の実現を大きな柱として掲げる予定です。2026年度はその初年度にあたりますので、午（うま）が象徴する「躍動」「前進」の年となるよう努めています。

今後とも変わらぬご指導、鞭撻を賜りますことをお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

への備えなど、多様で深刻な課題に直面しています。特に介護職員の確保は喫緊の課題となっていますが、当施設でも人材の確保・育成・定着に力を注いでまいりました。採用面では一定の成果が見られるものの、育成段階において離職が複数発生しており、これが克服すべき大きな課題の一つであると認識しています。この課題を解消するためには、職員が安心して成長できる環境整備が急務です。予定している事業構造の見直しに加え、周辺業務の切り出しによる適切な職種分散、さらにA-Iの活用等を通じた業務効率化などを積極的に進めながら、新人職員を安定して育成できる体制を整えることで人材の定着を図り、サービスの質向上を目指してまいります。

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、あいハート離宮前の運営に格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

あいハート離宮前はまもなく開設14年目を迎えますが、平均年齢が90・8歳といつも長寿でお元気なご入居者様とともにお陰様をもちまして今年も全館満室という盛況のうちに新年の佳節を迎えさせていただきました。

さて、最近の当ホームの風土に関するところですが、私が常々職員に求めています「満足を超え、感動を得るホスピタリティー」の精神が芽生えてきたと実感できる場面に遭遇する機会が多くなり喜ばしく思っています。

そしてこれは目に見える成果としても現れており、ここ数年のご契約では過去や既存のご入居者様による紹介や、多額の入居一時金の初期償却を失つてまで他の有料老人ホームから転入されるケース、リピーター（お父



あいハート離宮前 施設長
古崎 徹



様が利用されたのちにお母様も利用されるなどの割合が増えております。

全国の有料老人ホ

ームの平均入居率が84%を割り込むような状況にある中で、当ホームではご利用者を含め100%の入居率が維持できています。また、職員も質の高いホスピタリティーが自分たちの待遇の向上に繋がることを理解するようになってまいりました。

一方で上質なホスピタリティーや、介護サービスとホテルサービスの融合を目標とする意識は芽生えつつも、具体的かつ自主的に付加価値や何をすべきかを見出せる水準には至っておらず、取り組みの大半がトップダウンという課題がありますので、引き続き職員の育成に注力して、職員から私が想像もできないような新たなホスピタリティーが引き出せるようになります。

ご承知の通り介護業界の人手不足は極めて深刻な状況にあり、サービスに直結するスタッフの確保と育成には多くの苦難が伴いますが、新し

い年も全職員の精励と英知を結集させ、《感動》が得られるような介護サービスがご提供できますように層の努力をしてまいります。

愛の家

きぼう

◆児童部部門長 川崎 明美



新年あけましておめでとうございます。日頃より、当施設の運営ならびに子どもたちの成長を温かく見守り、ご理解とご協力を賜っておりますことに、心より御礼申上げます。



2026年は、この環境をさらに活かし、一人ひとりの特性や願いに寄り添った支援を、より丁寧に積み重ねてまいります。併せて、子どもたちの成長をしっかりと支えられるよう、体制づくりにも努めてまいります。

本年も、子どもたちの健やかな成長のため、変わらぬご支援を賜りますようお願い申上げます。

かがやき

◆部門長 山本 裕之



昨年度は、新棟の完成により十床の増床が実現し、子どもたちがより安全で安心して過ごせる環境を整えることができました。新しい生活空間の中で、子どもたちが落ち着いて活動に取り組み、自分らしさを伸ばしていく姿が見られるようになり、私たち職員にとっても大きな喜びとなっています。

また、今年度は2名の児童が卒業し、地域へと大きく羽ばたいていきます。これまで歩みを胸に新たな生活へ踏み出す姿は、私たちにとっても大きな感慨をもたらすものです。こうした成長を支えてくださった保護者の皆さま並びに関係機関の皆さんに、改めて深く感謝申し上げます。



作業棟へは本棟から渡り廊下で繋がります。



さて昨年の12月に、利用者がより快適に活動できる場として、新しく作業棟が完成しました。これまで職住分離が十分ではなく、生活スペース内で日中活動を取り組むことが多くありました。が、明確に活動場所を分けることができる環境が整いました。



がつており、移動する上で利用者の安全面をふまえながら、職員の見守り等における負担軽減も図ることができました。現在、作業棟への移動や新しい活動内容、集団の適応力等について確認しながら、少しずつ取り組みを進めています。

活動を通じて利用者の自己決定できる場面を増やしていくように、「これからも活動内容についてはより充実できるよう、職員丸になって取り組んでいく所存です。結びになりますが、本年が皆様にとって幸多き年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

グループホーム みさき

◆主任 山口 真吾



あけましておめでとうございます。2025年は、大阪・関西万博が開催され大盛況となり、阪神タイガースのリーグ優勝も相まって、関西が大いに盛り上がった年でした。

グループホームにおいては、この一年も限られた人員体制の中で、日常の支援を安定して提供できるよう努めてまいりました。大きな変化はなくとも、日々の積み重ねが利用者さんの安心につながった

年であつたと感じています。

一方で、世話人・利用者双方の高齢化や慢性的な人手不足は、今後の事業継続に関わる重大な課題と捉えています。そこで、来年度から始まる新たな中期計画では、「サステナブルな取り組み」として、負担が一部に集中しない働き方の工夫、情報共有の強化、役割分担の整理など、無理なく運営を継続できる体制づくりを重点に据えてまいります。さらに、こうした基盤整備に加えて、地域一帯を踏まえた事業拡大の可能性についても検討を進めます。

支援の質を維持しつつ持続可能な仕組みを整え、利用者さんの暮らしの選択肢を広げ、安心して過ごせる住まいを守ることも、職員にとって働き続けやすい環境づくりを目指してまいります。

本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、ようしくお願い申し上げます。

工房みさき

◆部門長代理 谷口 誠



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、愛の家「工房みさき」の活動に温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申

し上げます。

私たちは、利用者の皆さまが安心して過ごせる居場所であることを第一に、「人ひとりの「生きる」と」「やつてみたい」とを尊重しながら、日々の生活の中で小さな喜びや達成感を積み重ねられるよう取り組んでまいりました。地域の皆さまやご家族の支えがあつてこそ、活動の場が笑顔に満ち、温かな交流が育まれてることを改めて実感しております。

皆さまが自分らしく過ごし、仲間とともに喜びを分かち合えるよう、より一層の工夫と心配りを重ね、安心と希望に満ちた場づくりに努めてまいります。さらに、地域とのつながりを深め、世代を超えた交流の輪を広げることで、より豊かな学びや体験を共有できる場を築いてまいります。こうした取り組みを通じて、未来へと続く歩みを一歩ずつ重ねていけることを願っております。



新しい
が、皆さまに
とって健康で
穏やかで、そ
して楽しい時
間に満ちたも
のとなります
よう心よりお
祈り申し上
げます。本年
もどうぞよ
ろしくお願ひ
いたします。

『みらい

◆リーダー 片岡 正年



あいハート須磨

◆特養・ショート
副施設長 特養・ショート部門長 仙波 剛



本年は午年でござります。昨年の日曜劇場『ザ・ロイヤルファミリー』のように様々
な試練があつても人と人の絆を大切にし、
試練を乗り越えていけるよう、また午年
の勢いにあやかり、力強く前進してまい
りますので何卒よろしくお願い申し上げ
ます。



昨年は「2025年問題」と呼ばれる大
きな節目を迎へ、介護業界全体が人材不
足や制度の課題に直面しました。私たちも
その影響を肌で感じながら、離職防止や勤
き方の工夫、ICTを活用した業務効率化などに取り組んでまいりました。まだ課
題は多く残されていますが、少しづつ改善
の兆しも見えてきています。

介護職は「きつい・汚い・給料が安い」と
いった固定的なイメージを持たれる
こともあります。しかし本来は、利用者様や

新年明けましておめでとうございます。相談支援センター「愛の家「みらい」」です。旧年はひととだならぬご愛顧にあざかり、誠にありがとうございました。本年も一層のサービス向上を目指し、誠心誠意努める所存でございます。何卒本年も倍旧のご支援のほどお願い申し上げます。

私たちは、今まで通り利用者の皆さまの

夢が実現できるよう、緒に考えていたい
と思います。昨年もさまざま課題があり
ましたが、関係機関と連携をとり問題を一
つずつ解決してまいりました。今年もさま
ざまな事例が出てくると思いますが、丁寧
に対応していきたいと思います。また新規
契約者も増え、事業運営の面で改善がみら
れるようになりました。ただ利用者数の増
加により、対応が希薄にならないように気
を付けていきます。

本年は午年でござります。昨年の日曜劇
場『ザ・ロイヤルファミリー』のように様々
な試練があつても人と人の絆を大切にし、
試練を乗り越えていけるよう、また午年
の勢いにあやかり、力強く前進してまい
りますので何卒よろしくお願い申し上げ
ます。

デイサービス センター

◆部門長 原田 浩樹



新年あけましておめでとうございます。旧年中は当デイサービスセンターに温か
いご支援を賜り、心より御礼申し上げま
す。本年もどうぞよろしくお願い申し上げ
ます。

昨年もあいハート須磨デイサービスセン
ターでは、日々たくさんのが利用者様と関
わらせていただきました。それは私たちに
とって大きな喜びであり、何よりの学びで
す。この出会いに感謝し、ひとつのご縁を
大切にしながら、今後も引き続き「安心し
て過ごせる場所」と「笑顔あふれるひとと
つき」を提供できるように努めてまいります。

新年あけましておめでとうございます。旧年中は施設の運営にご理解とご協力を
賜り、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は「2025年問題」と呼ばれる大
きな節目を迎へ、介護業界全体が人材不
足や制度の課題に直面しました。私たちも
その影響を肌で感じながら、離職防止や勤
き方の工夫、ICTを活用した業務効率化などに取り組んでまいりました。まだ課
題は多く残されていますが、少しづつ改善
の兆しも見えてきています。

介護職は「きつい・汚い・給料が安い」と
いった固定的なイメージを持たれる
こともあります。しかし本来は、利用者様や

昨年、あいハート須磨は創立30周年を迎
え、記念行事を通じてこれまでの歩みを振
り返り、未来への歩みを踏み出しました。本
年はその節目を越え、中期計画、事業計画
を基に、直面する課題をひとつ乗り越
え、「雲外蒼天」の思いを胸に、皆様と共に
前進してまいりたいと存じます。

また、新年度には旧年度実施できなかつ
た委員会活動を再開します。介護万針を
軸に委員会活動に取り組み、ケア質の向
上、職員の介護スキルの向上にも注力して
まいります。

◆特養・ショート
副施設長 特養・ショート部門長 仙波 剛





2026年は、より選ばれるデイサービスセンターを目指し、以下の三つのことを意識しながら、重点的に取り組んでいきたいと思います。まず「つ目は、「生活機能の維持向上につながるリハビリや活動の充実」。「つ目は、「職員の専門性を高め、やりがいと働きやすさが両立する職場づくり」。三つ目は、「地域やご家族との連携を深め、在宅生活を支える体制の強化」です。本年も、「ここに来て良かった」「また来たい」と感じていただけるセンターであり続けられるよう、出会いへの感謝を胸に心を込めて支援にあたってまいります。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



◆ 部門長 丸島 幸子
心身ともに健康で充実した日々を送れるように仕事とプライベートを両立したいと思います。

『居宅介護支援事業所』

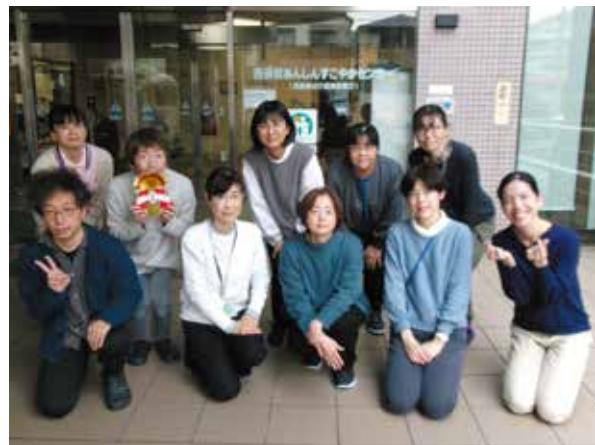


◆ 今城 ゆり
夜型人間の私・・今年は良質な睡眠をとる事を目標にしてみます。時々は、楽しい夢も見れたらなあ。

◆ 浪江 知永子
楽しく仕事ができ続けられるように小さな達成感の積み重ねを心がけ体のメンテナンスにも努めます。

◆ 余田 恵
今年も「夢と魔法の王国への旅」ができるように、仕事に励みたいと思います。

◆ 菅家 妙子
感謝の気持ちを忘れず謙虚に行動することを心がけ、休みの日は図書館で本を読みたいと思います。



◆ 大藤 孝子
自分ができることを大切にして日々楽しみを見つけたいと思います。

◆ 西中 志保
日々に楽しみを持ち、一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいと思います。

◆ 毛利 芽衣
関わってくださる全ての方に感謝しながら、日々の仕事に落ち着いて取り組んでまいります。

◆ 部門長代理 橋本 裕弥
仕事もプライベートも新たなことへの挑戦する1年にしたいです。時間も無駄にせずに過ごしたいです。

◆ 部門長 柏木 照子
信頼されるセンターを図り、笑顔と感謝、一期一会・繋がりを大切に、しなやかにいきます。

◆ 齋藤 知見
「泰然自若」自然体でものごとに動じず、落ち着いて向かい合い合いたいです。

◆ 主任 大道 雅子
「無理をせず、楽しみを持ちながら」を合言葉に本年も業務に取り組んでまいります。

◆ 日和佐 祐樹
「健康第一」心身ともに笑顔で過ごし、潤いのある日々を送っていきたいです。

◆ 立浪 雅美
心に余裕をもち、周りを俯瞰することを意識しながら日々業務に取り組んでいきたいです。

◆ 平池 方子
明石家さんまさんの師匠の「おもろないこと面白く」の精神で今年も精進いたします。

◆ 井上 久美子
笑顔、素直、謙虚を胸に日々、頑張ります。

◆ 森元 淳子
須磨の地域に長く住んでいる方に出会うたびに地域の魅力再発見出会いを大切にしたいです。

◆ 篠崎 美菜子
心の断捨離もしながら、気持ちにゆとりを持って過ごしていきたいです。

◆ 藤井 幸代
日々の出会いや出来事への感謝を忘れずに、笑顔ある生活を目指します。

◆ 大道 雅子
「泰然自若」自然体でものごとに動じず、落ち着いて向かい合い合いたいです。

◆ 齋藤 知見
「健康第一」心身ともに笑顔で過ごし、潤いのある日々を送っていきたいです。

◆ 立浪 雅美
心に余裕をもち、周りを俯瞰することを意識しながら日々業務に取り組んでいきたいです。

◆ 主任 大道 雅子
「無理をせず、楽しみを持ちながら」を合言葉に本年も業務に取り組んでまいります。

◆ 日和佐 祐樹
「健康第一」心身ともに笑顔で過ごし、潤いのある日々を送っていきたいです。

◆ 篠崎 美菜子
心の断捨離もしながら、気持ちにゆとりを持って過ごしていきたいです。

『厨房

◆ 部門長 澤田 州子



新年あけましておめでとうございます。

昨年は入居者の皆さまの健康を食事面から支えるにあたり、ご家族の皆さまの温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申上げます。

本年も「安心・安全で美味しい食事」を基本に季節を感じられる献立や、食べる楽しみを大切にした取り組みを続けてまいります。

また、職員や地域の皆さまと連携しながら、より良い環境づくりに取り組んでまいります。

皆様にとつて、笑顔ありますようにお祈り申し上げます。

◆ 脳梗塞リハビリステーション
神戸須磨

◆ センター長 伊藤 正憲

明けましておめでとうございます。
4月から小舟PTが仲間に加わり、



皆様にとつて、笑顔ありますようにお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新たな中期計画で始動する2026年度。計画を策定するにあたり、最も重要なのが戦略マップ（BSCシート）の作り込みです。「考へては修正・考へては修正…」と、これを繰り返しているときにワクワクが止まらない自分自身がいました。

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし」、これは江戸時代の思想家・教育者である吉田松陰が遺した言葉です。綿密に練った計画に軸足を置き、いきいきと仕事に取り組み、今年の脳梗ハリも力強く邁進します。

強みをもつとわかりやすく訴求したいとリコーアルした公式ホームページは、「洗練されていて良いですね」と、皆さまからもうれしい声がありました。初めて開催した脳卒中当事者の会「脳リハ交流会」は、当事者やご家族さま同士が日々の工夫や後遺症の悩みを分かち合う機会となりました。

新たな中期計画で始動する2026年度。計画を策定するにあたり、最も重要なのが戦略マップ（BSCシート）の作り込みです。「考へては修正・考へては修正…」と、これを繰り返しているときにワクワクが止まらない自分自身がいました。

新年あけましておめでとうございます。

皆様には日頃より当ホームの運営に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

近年、ChatGPTやGeminiなどの生成AIが広く活用されるようになつてきました。あいハート離宮前でも、居室の見守りカメラや生活記録ソフトの導入などICT化が進んでおりますが、生成AIの活用については、まだ十分とは言えない状況です。

今後、生産年齢人口の減少や人件費の上昇が見込まれるなかで、効率的に、そしてこれまでと変わらぬホスピタリティを保ちながらサービスを提供し続けるためには、業務改善がますます重要になると考えています。そのつ

の手段として生成AIは大きな助けとなる可能性があります。私自身も文書や資料作成、事故報告書の再発防止策の検討などに生成AIを活用し、業務効率化の効果を実感しています。今後は介護現場でもこうした技術を取り入れ、2026年はさらに業務改善を進めていきたいと考えております。

本年も変わらぬご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



ご支援をくださった方々

《11月》

◆ 寄付金

NTT労働組合退職者の会神戸地区協議会 様

NTT労働組合関西総支部大阪南分会 様

近藤 敏子 様

美谷 恵津子 様

(計4件)

インソールは片麻痺の動きも変える

脳梗塞リハビリステーション神戸須磨 主任 小舟 裕也

皆さまはインソールというものをご存じでしょうか?「インソール=中敷き」と認識されがちですが、両者には少し違いがあります。中敷きはフラットな形状のものが多く、サイズが大きな靴を履きやすくする、蒸れを防止するといった役割を果たします。一方でインソールは、中敷きの役割に加えて、足のアーチをサポートする、足の動きを誘導する機能を持ちます。靴に挿入したインソールが足底面を介して全身の動きを修正し、最適な足のコンディションで歩くことを実現します。

市販されている汎用性のあるインソールからオーダーメイドで製作する個別性の高いインソールまで、その種類は多岐に渡ります。オーダーで作ると一般的に数万円の製作費用が掛かりますが、当センターでは100円ショップでも販売されている床の傷を防止するフェルト(写真1)を使って簡易型のオーダーメイドインソールを製作・提供しています。

当センターを利用している脳出血左片麻痺例に実際に提供したインソールを紹介します。左下肢での片足立ち保持(写真2)を評価すると、運動麻痺(痙縮)により足が内反し、足底の接地面が狭くなっています。麻痺側の動きをさらに詳しく分析すると、距骨下関節と横足根関節が回外し、足趾屈曲と足関節の背屈が生じて指先と足底の内側が浮いています。この足の状態は、荷重連鎖で下腿の後傾と外旋を引き起こし、さらには骨盤の左回旋をきたし、下肢全体の左後方へ傾きを強めています。バランス戦略として体幹は屈曲・左側屈・右回旋しており、Tシャツには深い横皺が多くあるのがわかります。

このケースのインソール挿入のポイントは、①後足部の回内を誘導すること、②前足部の回外を誘導すると同時に回内を制動することです。これを踏まえ、厚みや硬さの違うフェルトを組み合わせて足の裏に直接貼り付けていきます。「貼付→動作チェック→貼付位置の微調整→動作チェック→貼付位置の微調整…」と、このプロセスを繰り返して最適な貼付位置を決定します。今回は4種類のフェルトを5か



写真1

所に貼り付けました(写真3)。この足のコンディションで片足立ちをしてみてもらうと、浮いていた足の内側と指先が床に接地しているのがわかります(写真4)。ご利用者も足の接地感の良さとバランスの取りやすさを実感されました。写真3の配列で中敷きにフェルトを装着し、この段階でも微調整を重ね、簡易型オーダーメイドインソールが完成します。完成したインソール(写真5)を普段履いている靴の中に挿入していただきおり、日常生活での歩きやすさも実感されています。

足の内反は、「土踏まずが浮いてしまう」「体重をかけると捻挫しそう」と、多くの片麻痺例が悩まされる麻痺のひとつです。挿入するだけで良い荷重連鎖が生まれ、歩きやすさに繋がるのもインソールの魅力ですね。後遺症リハビリに加え、適応があるケースにはインソールを提供できることも脳リハの強みです。



写真2



写真3



写真4



写真5

「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等どのようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 072-494-0123
- あいハート須磨 078-737-2525
- あいハート離宮前 078-731-2130
- 法人本部 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73

TEL 06-6458-5723

Website <https://www.zendentu-kinki.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>

E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp



【発行人】

理事長 橋本 寿樹